



こすもす

保育園だより



七夕まつり

七夕まつりに向けて、6月下旬から各クラスにて短冊や七夕飾りの製作活動を行ってきました。すみれ組はパンチで穴をあけた星型の厚紙に毛糸を通したり、コーヒーフィルターに水性ペンで絵を描き、霧吹きで水を吹きかけにじみ絵にしてみたりと様々な素材を使って作りました。ちゅーりっぷ組は保育者が下準備をしていた物にシールをはったり、クレヨンを使って彦星と織姫の顔を描いたりなど、子どもたちは年齢に合った様々な製作活動を行っていました。お父さんやお母さんの願い、本人の願いを短冊に書いて頂き、みんなの願い事が叶うように言いながら笹に飾り付けをしました。



7月7日当日は保育者によるパネルシアターを見て、七夕の由来について知りました。時折、登場人物に驚いたりしながらも興味津々な子どもたちでしたが、落ち着いて椅子に座り、集中して観ていました。願いが叶うように大きな声で「たなばたさま」の歌も元氣よく歌って楽しく過ごす事ができました。

こすもす保育園
主任保育士 上山知世記



薔薇の香りに包まれて



宮前コスモスの家の「絵の会」は、4月より河畑様のお宅をお借りして続けています。5月のお稽古日には皆さんが持ち寄ったたぐさんのバラの花に囲まれ、色どりや香りを楽しみながら、何を描こう、何が描けるかなと迷いながら描いておられました。毎年、秋に行われる「ふれあいまつり」に出品できるよう頑張っています。

★高齢者および中高年の方、どなたでも参加できます！
★月1回 費用1000円
(講師による絵画指導あり)



★問い合わせ先
川崎市宮前区鷺沼4-7-13
044-866-2553
宮前コスモスの家
杉村敦子記



七夕交流会



毎年恒例の七夕交流会に今年も招待されました。有馬小学校の元氣いっぱいな一、二年生の子どもたちと七夕の歌を唄ったり、七夕にまつわるクイズゲームをしたり、音楽に合わせ



せてボール回しをする中で自己紹介をしたりと元氣な子供たちと楽しいひと時を過ごしました。なかなか日常生活の中では接点を持てない世代間同士の交流が表現できる環境は、お互いにとってとても大事なことだと思います。これからもこの環境を大切に交流会を行っていきたいと思っております。

有馬コスモスの家
山口洋美記



平成二十六年 度 通常総会開催



平成26年6月22日(日) NPO法人・秋桜舎の通常総会が開催され、25年度の活動報告と26年度活動計画とそれに伴う予算を決定いたしました。

戦後69年を経て、今、日本国憲法が亡きものになっていくのではないかと思われる政治状況になっています。安倍内閣が強引に推し進めていく、集団的自衛権、教育改革、消費税アップ、物価上昇、オスプレイ厚木基地への飛来など、私たちが不安に思っていたことが、現実となってきています。そして、「医療・介護統合推進法案」が衆・参院にて採択されました。

これにより、介護保険の要支援Ⅰ・Ⅱは制度から外され、地方自治体の地域支援事業となります。コスモスの家では「ストップ介護保険改悪」を掲げ、全ての人に安心の介護をと「介護保険制度をよくなる会」を発足させ、国・市にむけて請願活動を行って



2014年夏号 No.99
特定非営利活動法人・秋桜舎 コスモスの家
〒214-0034 川崎市多摩区三田二-15-13
TEL 044-931-2455 FAX 931-2442



介護保険制度の枠を超える地域福祉活動への転換を図ります。また、国会が打ちだした平成27年度4月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」に向けて、こすもす保育園は、認定保育園から認可を目指し、活動展開してまいります。コスモスの家は、今年度も憲法第25条を抛りどころに、9事業とその他の活動を含めて、昨年度同様、1億2000万円の予算の活動を地域の方々とともに進めていくことを決意いたしました。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。 NPO法人・秋桜舎

★総会出席者 高橋恵子さんからのメッセージ
秋桜舎の通常総会に2年ぶりに出席いたしました。日頃103歳の母のことでお世話になっておりますので、出席せねばと思い、出かけました。母がまだ元気な頃は、デイサービスに週4回参加し、楽しく過ごさせていただき、母は大満足しておりました。思い出せば、宮前コスモスでお世話になってから10年が過ぎようとしています。吉川さんの作ってくださるお食事はとても美味しくて何度も聞かれました。この度の総会に出席して、コスモスの家が手広く活動されている現状を知り、今後とも益々ご発展されることを利用者家族としてお祈りしております。

ボランティアさんへ感謝状



総会後、恒例の歓送迎会が開かれ、手作り料理をいただきながら、交流を深めました。そして、10年勤続表彰11名、ボランティア活動10年6名の方々へ感謝状とささやかなお礼の品をお送りしました。

コスモスの家の活動は、ボランティアの方々のご協力に支えられています。10年間の活動についてお話ししていただきました。

「コスモスの家でボランティアを始めたのは、平成15年6月、今でもはつきり覚えております。退職後に悠々自適の生活ができると思っていたけれど、とんでもない。毎日何をして過ごすかが大変ですね。趣味もあったけれど、毎日はいんどい。企業戦士だったから地域の人の繋がりがもたないし、こういう時、男はつらいですよ(笑)コスモスの家のボランティア募集のポスターを見て散歩の途中で飛び込みました。玄関先で理事長とお話して『じゃあ、明日から来てください』ってびびくりしましたよ。そんな、すぐ信用しちゃうっていいの？(笑)



ここにきてわかったことは、『人っていうのは独りでは生きていけないんだ』ってこと。僕のほうを利用者さんに助けられています。」

子育て・子育て支援新制度

平成27年4月スタート!

少子化という言葉が世の中に知られるようになって幾年過ぎたでしょうか、6月発表となった出生率は今までの1・41から1・43と多少上がったものの、先進国の中ではまだまだ低い位置にあります。少子化は年金問題や労働力問題に大きく関わっているため、ニュースでも大々的に取り上げられ、国も消費税率を8%に上げる中で、その一部を新しい子育て制度に投入し、様々な子育て支援の問題に歯止めをかけようとしています。そして平成24年8月に成立した「子ども・子育て3法」に基づき平成27年4月より国が定めた「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。「子ども・子育て支援新制度」とは

- ◆保育の場を増やし、待機児童を減らして、子育てしやすく、働きやすい社会を目指す
- ◆幼稚園と保育園のいいところを一つにした「認定こども園」の普及を図る
- ◆幼児期の学校教育や保育、地域のさまざまな子育て支援の「量の拡充」や「質の向上」を進めるという取り組みを市町村が中心となって進めていきます。

この間、3千円以上の寄付者が年50人以上いるか、運営組織や経理が適正に運用されているか、労務や財務などの書類が適正に処理され法定期間きちんと保存されているか、情報公開を適正に行っているか、どのような事業がどのように実施されているか等、書類審査や3回に渡る立ち入り調査で、詳細なチェックがあり、その結果「認定相当」の高い評価を受け、今回の認定に繋がったものです。ここに至るまで、法人関係者はもとより地域住民の皆様から頂いた幅広いご支援に心から感謝申し上げます。引き続き更なるご支援をお願いいたします。

認定NPO法人となったメリットとしては、まず寄付者に対する税制上の措置として、一定の所得税の税額控除を受けられます。

また、川崎市条例指定のNPO法人でもあるので、**市民税及び県民税の税額控除**を受けられます。さらに、寄付金による法人基盤の強化、法人に対する社会

認定NPO法人 資格の獲得

平成26年6月25日、当法人は予めより懸案であった「認定NPO法人」の資格を取得することができました。平成24年度の総会で「認定取得方針」が決定後、認定申請の準備を進め、翌25年7月に川崎市に申請書を提出、同10月には、川崎市条例による「川崎市指定NPO法人」の指定を受け、翌26年6月国の制度に基づいた「認定NPO法人」の実現となったものです。

この間、3千円以上の寄付者が年50人以上いるか、運営組織や経理が適正に運用されているか、労務や財務などの書類が適正に処理され法定期間きちんと保存されているか、情報公開を適正に行っているか、どのような事業がどのように実施されているか等、書類審査や3回に渡る立ち入り調査で、詳細なチェックがあり、その結果「認定相当」の高い評価を受け、今回の認定に繋がったものです。ここに至るまで、法人関係者はもとより地域住民の皆様から頂いた幅広いご支援に心から感謝申し上げます。引き続き更なるご支援をお願いいたします。

認定NPO法人となったメリットとしては、まず寄付者に対する税制上の措置として、一定の所得税の税額控除を受けられます。

また、川崎市条例指定のNPO法人でもあるので、**市民税及び県民税の税額控除**を受けられます。さらに、寄付金による法人基盤の強化、法人に対する社会

の保育園が認可移行されていきます。

今後、国の意向に合わせると、認可保育園を目指すということになります。しかしながらこの制度の中身はまだまだ不確定な所が多く、混雑と混んでいることも事実です。まず急激に保育園を増やすことは質の低下にもつながります。

保育者の確保も難しくなり、保育士免許を持つ人の稼働率は60%と言われる中、多くの園が保育者確保に試行錯誤しているのが現状です。その反面「子どもが小さいから…」という理由で就職を断念するケースも少なくないのです。

若い子どもを持つ女性が社会復帰するにはなかなか難しい問題が山積しています。女性が働きながら子育てができる環境を作りだすためにワークシェアリングやライフワークバランスの考え方をもちと現実的に取り入れることや、短時間労働、リフレッシュのための一時保育の体制も不可欠だと考えます。



誰もが安心してあずけられ、キャリアを生かして働ける保育園、子育てに困ったときに誰もが気軽に門をたたける保育園をこすもす保育園は目指します。

こすもす保育園
園長 中澤あずみ記

的信頼性の向上等が望めます。介護保険制度の大幅な改正等、コスモスの家を囲む社会的、経済的環境は大変厳しいものがありますが、今回の認定を機に従来から行ってきた「子どもから高齢者まで安心・安全のまちづくり」を目指したコスモスの家9事業を更に力強く展開してまいりたいと思います。活動への幅広いご理解とご支援を求めめるためにも、寄付者層の拡大に向けた努力を強めたいと思っておりますので、一層のご協力をよろしくお願いいたします。

コスモスの家 大島清年記

新ホームヘルプサービス提供責任者 大塩圭子です!

今年からホームヘルプサービス提供責任者として着任いたしました大塩圭子と申します。着任して以来、無我夢中で仕事に取り組み、あつという間に半年が過ぎました。これまでホームヘルパーとしてのキャリアを積み重ねて参りましたが、サービス提供責任者としての仕事は初めての経験です。わからないことや、戸惑うことも多くて周りの方に支えられながら日々やりくりしております。

今までのサービス提供責任者の方々が築き上げてきたものを守りながら、地域に根ざしたより良いサービス提供できるように努力して行きたいと思えます!カンバリマース!!



高齢者相談会

川崎市多摩区東三田にある、レイディアントシティ1向ヶ丘遊園は、2008年(平成20年)に完成し、総数750戸の大型マンションです。

住居者も若い世代が多いマンションですが、高齢者の方々もたくさんいらっしゃいます。

しかし、民生委員や児童委員がいない状態が続いており、特に高齢者に対するケアが不十分であることから、NPO法人コスモスの家から相談員を派遣していただきます。



ただ、2012年(平成24年)1月から65歳以上の住民を対象にした「高齢者出前相談会」を開催しております。

この相談会は、毎月第4水曜 日14時~16時に定期的に行われ、相談員は、「コスモスの家」から渡辺ひろみ理事長ほかの方々にお問い合わせいただけます。相談内容も介護保険、医療関係の情報だけでなく、近隣のお店情報等多岐にわたり、ときには雑談で盛り上がりつつあり、交流の場ともなっています。

レイディアントシティの高齢世帯率は約6%で、今後も高齢化が進むことが予想されるため「高齢者相談会」は続けていきたいと考えています。



松村安紀記

川崎市モデル事業 始まりました!

川崎市では、川崎市介護予防事業推進体制構築モデル事業(仮)を進めています。

コスモスの家では、「入浴モデル事業」を受託して6月21日(土)~8月30日(土)まで、毎週土曜日午後1時30分からおよそ2時間、デイサービスセンターで行っています。

コスモスの家としては、要介護I・IIが介護保険から外され、市の地域支援事業になった場合でも、同じ水準のサービス提供されることの検証をするため、モデル事業を行っています。



★コスモスの家★ ホームページ リニューアル!

6月27日からホームページが新しくなりました!

<http://www.cosmosnoie.com> ぜひ、ご覧下さい!